

## 植物の名前

前号で「今年の桜は期待できます！」と紹介しましたが、その通りになりました。ただししばらく駆け足だったようです。塩ヶ森水辺園地のオオヤマザクラの開花は27日とほぼ例年通りでした。しかし、その日から20~23の日々が4日間続き、例年であれば1週間後に満開となるソメイヨシノが、なんと29日に開花し、翌日には五分咲き程度に！そしてすぐに満開となりました。今年の冬は桜の花芽を食べるウソもほとんど見かけず、例年より花付きが良くなり、数種類の桜の競演ともなり花見には最高の年になりました。ヤエベニシダレやカスミザクラ、八重桜も早めに開花しました。

さて、5月2日に近くにあるN小学校の徒歩遠足に同行しました。『自然に親しませる』ことが遠足の目的にもあり、少しばかり公園内の自然観察のお手伝いをしました。タンポポの花が虫たちにはどう見えるのかとか、どのように咲いて来るのかと一緒に観察しました。その中で、フキノトウにはオスとメスがあり、花を見て星形になっているのがオスですよ...などとフキノトウを手にとって説明していたら、「こっちが‘バッケ’でこっちが‘ジッケ’だよ！」との初めて聞く名前を耳にしました。湧水のあるような崖のことをバッケとかハケと呼び、そういうとこに生えるから‘バッケ’という説もありますが、この‘ジッケ’には驚きました。とある地域での方言名です。



やがて枯れていきます。



種を飛ばすためにさらに伸びます。



‘ジッケ’で~す！



私が‘バッケ’です。